

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公開番号】特開 2001-209632 (P2001-209632A)
 【公開日】平成 13 年 8 月 3 日 (2001.8.3)
 【出願番号】特願 2000-15906 (P2000-15906)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 7 0 N

G 0 6 F 3/00 6 5 1 B

G 0 6 F 17/21 5 4 0

G 0 6 F 17/30 3 2 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】ドキュメントハンドリング装置
 【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のページを有する文書ファイルを取り扱うドキュメントハンドリング装置であって

、

複数の文書ファイルに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルを表示する一覧画面領域および前記複数の文書ファイルの内、選択された文書ファイルの複数のページに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルを表示するパレット画面領域とを有する表示画面と、

前記パレット画面領域内での操作に応じて、前記選択された文書ファイルの複数のページに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルの内、所望のアイコンもしくはサムネイルを指定し、新しい文書ファイルを生成するために、前記指定されたアイコンもしくはサムネイルを束ね、前記束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルおよび该文書ファイルに対応するアイコンもしくはサムネイルを生成する文書ファイル処理手段と、

を有することを特徴とするドキュメントハンドリング装置。

【請求項 2】

前記ドキュメントハンドリング装置に登録された文書ファイルに基づいて、汎用フォーマットの文書ファイルを生成する文書ファイル生成手段と、

該汎用フォーマットの文書ファイルと、前記登録された文書ファイルとを関連づける手段とを有し、

前記文書ファイル処理手段は、前記汎用フォーマットの文書ファイルに基づいて前記束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルを生成する

—
ことを特徴とする請求項 1 記載のドキュメントハンドリング装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

(1) 請求項 1 記載のドキュメントハンドリング装置の発明は、複数のページを有する文書ファイルを取り扱うドキュメントハンドリング装置であって、複数の文書ファイルに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルを表示する一覧画面領域および前記複数の文書ファイルの内、選択された文書ファイルの複数のページに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルを表示するパレット画面領域とを有する表示画面と、前記パレット画面領域内での操作に応じて、前記選択された文書ファイルの複数のページに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルの内、所望のアイコンもしくはサムネイルを指定し、新しい文書ファイルを生成するために、前記指定されたアイコンもしくはサムネイルを束ね、前記束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルおよび该文書ファイルに対応するアイコンもしくはサムネイルを生成する文書ファイル処理手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

また、請求項 2 記載のドキュメントハンドリング装置の発明は、前記ドキュメントハンドリング装置に登録された文書ファイルに基づいて汎用フォーマットの文書ファイルを生成する文書ファイル生成手段と、該汎用フォーマットの文書ファイルと、前記登録された文書ファイルとを関連づける手段とを有し、前記文書ファイル処理手段は、前記汎用フォーマットの文書ファイルに基づいて前記束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルを生成する、ことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

この発明では、登録された文書ファイルに基づいて汎用フォーマットの文書ファイルを生成し、生成された前記汎用フォーマットの文書ファイルと、登録された文書ファイルとを関連づけて取り扱い、汎用フォーマットの文書ファイルに基づいて束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルを生成するようにしている。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 3 】

【発明の効果】

(1) この発明では、複数の文書ファイルに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルを表示する一覧画面領域および前記複数の文書ファイルの内、選択された文書ファイルの複数のページに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルを表示するパレット画面領域とを、表示画面として用意しておいて、パレット画面領域内での操作に応じて、選択された文書ファイルの複数のページに対応する複数のアイコンもしくはサムネイルの内、所望のアイコンもしくはサムネイルを指定し、新しい文書ファイルを生成するために、指定されたアイコンもしくはサムネイルを束ね、束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルおよび該文書ファイルに対応するアイコンもしくはサムネイルを生成するようにしているため、頁分割や束ねに関係しない他の文書ファイルが存在する一覧画面領域で頁分割や束ねといった作業をする必要がなくなり、関連する文書ファイルだけが存在するパレット画面領域で作業性が優れた状態で所望の文書ファイルの頁分割あるいは束ねを実行することが可能になる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

(2) この発明では、登録された文書ファイルに基づいて汎用フォーマットの文書ファイルを生成し、生成された前記汎用フォーマットの文書ファイルと、登録された文書ファイルとを関連づけて取り扱い、汎用フォーマットの文書ファイルに基づいて束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルを生成するようにしているため、汎用フォーマットの文書ファイルと元のフォーマットの文書ファイルとの関連が保たれ、元の文書ファイルに影響を与えることがない。これにより、頁分割したものを元の状態に戻したり束ねたりといった作業が簡単に実行できるようになる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

(3) この発明では、登録された文書ファイルに基づいて汎用フォーマットの文書ファイルを生成し、生成された前記汎用フォーマットの文書ファイルと、登録された文書ファイルとを関連づけて取り扱い汎用フォーマットの文書ファイルに基づいて束ねられたアイコンもしくはサムネイルに対応するページを有する文書ファイルを生成するようにしているため、文書ファイルを扱ったハンドリングソフトが存在しない環境であっても、取り扱った結果の文書ファイルの様子を、汎用フォーマットの文書ファイルを閲覧することが可能な閲覧ソフトを入手することによって確認できるようになる。